Laminan

# 全自動コールド低温ホットラミネータ

# 1400/1600EMNSII
# 1400/1600EMTNII

# 取扱説明書

このたびはユーボンラミネータをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管しておいてください。

YOUBON

Rev.1012

# 目次


ページ

**安全に正しくお使いいただくために** …… 2

**特長** …… 5

**付属品について** …… 5

**使用上のご注意** …… 6

**各部の名称と働き** …… 7
●本体部　●コントロールパネル部　●コントロールパネル操作説明

**開梱、設置について** …… 11
●本体およびフィルム用シャフトの取り出し
●設置のしかた

**付属品の取り付け** …… 13
●シャフト受け(前・後)の取り付け
●ヒーターの取り付け
●フィルム用シャフトのセット
●アンダーフィルムおよびラミネートフィルムを各シャフトにセットするには

**オプション巻取装置** …… 17
●メディア巻取装置の取り付け方法
●両面貼り用離ケイ紙巻取装置の取り付け方法

**フイルムをセットする** …… 20
●ラミネートフィルムおよびアンダーフィルムをセットする
●ラミネートフィルム、アンダーフィルムの張り調整

**モード設定** …… 23

**ラミネートを始める前に** …… 25

**ラミネートを始める** …… 26

**故障かな？と考える前に** …… 28

**主な仕様** …… 29

# 安全に正しくお使いいただくために

**本機を安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。**

**絵表示について**　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

**絵表示の例**

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

## ⚠警告

### ■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、専門のサービス担当者に連絡を取ってください。

### ■絶対にカバー（左右）ははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機のカバー（左右）は絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は専門のサービス担当者にご相談ください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

### ■巻込みに注意

巻込注意

指をはさまないように注意

- 本機のコーティングローラーなどに指や手をはさみ込んだり、服の袖、ネックレスやネクタイを巻き込まれないように注意してください。けがの原因となります。

# ⚠注意

## ■ローラーの加圧について

- 弊社製品でラミネートを行う場合の加圧法は、ハンドルを操して上ローラーを降ろしていくとハンドルの操作感が軽くなります。ハンドルはその状態内に留めてラミネートを行ってください。
- 弊社製品でラミネート作業の加圧方法は、ローラーの自重によって行います。よって、ラミネート時に上ローラーを降ろし過ぎますと、ローラーの加圧バランスが崩れて、均一にラミネートが出来なくなります。
- 操作の目安としては、ハンドルを操作して上ローラーが下ローラーに乗った状態になると、ハンドルを操作感が軽くなります。そのローラー状態が弊社製品のラミネート作業において適圧ですので、それ以上はハンドルをDOWN方向に回さないでください。

## ■離ケイ紙の剥がれているラミネートフィルムについて（セットした状態のまま次回使用する場合）

- ホコリ・ゴミの付着や離ケイ紙の剥離痕等の要因により、ラミネートの仕上がりに影響を及ぼす場合があります。この部分のご使用は避けてください。

## ■電気コード、電源プラグの注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードを持って行ってください。コードが傷つき、火災・感電・転倒の原因となることがあります。
- 電源プラグやコードが傷んだら専門のサービス担当者に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となる場合があります。

## ■修理・点検について

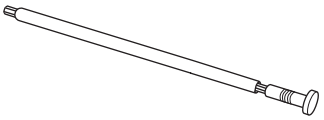
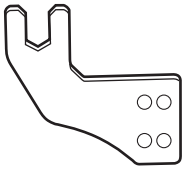
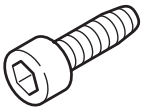
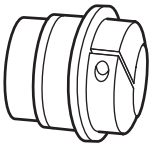
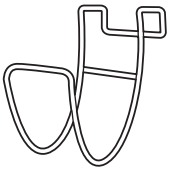
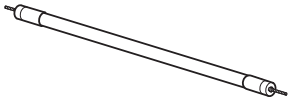
- 本機の修理はご自分で行わないでください。次のような場合には電源プラグを抜き、専門のサービス担当者にご連絡ください。
  - 電源コードや電源プラグが損傷した。
  - 本機の内部に液体が入った。
  - 間違った操作をした後、本機がうまく動作しなかった。
  - 本取扱説明書通りに本機が動作しない。

# 特長

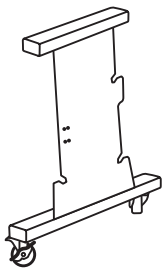
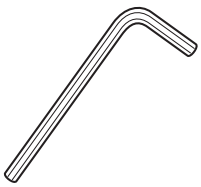
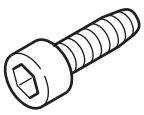
●ポスター、カタログ、文書、図面などを大型サイズまで美しく、ラミネートすることができます。
●広範囲な材質に対して粘着可能なコーティング膜を持つラミネートフィルムにより、様々な業界で利用することができます。特に印刷・広告の分野などにおいては、高い実用性を持っています。
●合理的な設計に基づく構造により、初心者でも簡単に操作することができます。
●本機はコーティングローラーの温度を調節することによって、コールドと低温ホットの2つのラミネート加工を行うことができます。

# 付属品について

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
（　）内の数字は数量を示します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **フィルム用シャフト（2）**<br>**（梱包箱に固定）**<br>  | **シャフト受けA（2）**<br> | **シャフト受けB（2）**<br>  | **フットスイッチ（1）**<br> |
| **内六角固定ボルト（16）**<br>**M6×16**<br>  | **平座金φ6（16）**<br> | **スプリング座金φ6（16）**<br> | **内六角スパナー 5（1）**<br> |
| **取扱説明書（本書1）**<br> | **フィルムキャップ（4）**<br>  <br>**（フィルム用シャフトに付属）** | **メディア受け（3）**<br>  | **ヒーター管（1）**<br>  |

専用スタンド梱包箱には以下の部品が入っています。お確かめください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **専用スタンド脚(2)**<br>  | **支柱(2)**<br> | **内六角スパナー 6(1)**<br>  | **内六角固定ボルト**<br>**M8×100(8)**<br>**M8×60(4)※支柱用**<br>  | **平座金φ8(12)**<br> |
| | **支柱(1)**<br> | | | **スプリング座金φ8(12)**<br> |

# 使用上のご注意

●アース線は必ず接続してください。

●ラミネートを始めるときは、思わぬ事故を防ぐため、フットスイッチまたはコントロールパネルのスイッチを使用し、できるだけ低速で本機を操作してください。

●ラミネート加工をするため、本機をできるだけ以下のような環境でご使用ください。

**温度**：20℃～30℃の範囲内でご使用ください。
本機を直射日光の当たる場所には設置しないでください。

**湿度**：40%～70%以下でご使用ください。
ラミネート時にはコーティング膜の静電気により、ほこり、ゴミ等が吸着されることがありますので、できるだけ本機をほこり、ゴミ等が少ない場所に設置してください。

●本機を効率的にまた安全にご使用できるように周りに十分なスペースを確保してください。

●本機の損傷を防ぐため、コーティングローラーの表面でラミネートフィルムを切らないでください。コーティングローラーに傷が付いてコーティングローラーを損傷することがあります。

●カッターやギザギザした物、厚くて硬い物などはラミネートしないでください。また、定規、カッターなどを作業時に前テーブル、後テーブルの上などに放置しないでください。コーティングローラーに巻き込まれると故障の原因となります。

●低温ホットでラミネートを行う場合、メディア・フィルムの材質に合った設定温度でご使用ください。

低温ホット設定温度

| | |
|---|---|
| 塩ビフィルム | 20～25℃ |
| OPP／PETフィルム | 30～35℃ |

⚠温度を上げ過ぎると、フィルムが伸びる恐れが有ります。

●長時間作業をしない時、又は本機から離れる場合は、ヒーターを切ってください。

●本機を使用しない時は、上ローラーを少し上げて下ローラーとの間にすき間を開けてください。上下ローラーを密着したまま放置するとローラーの変形の原因になります。

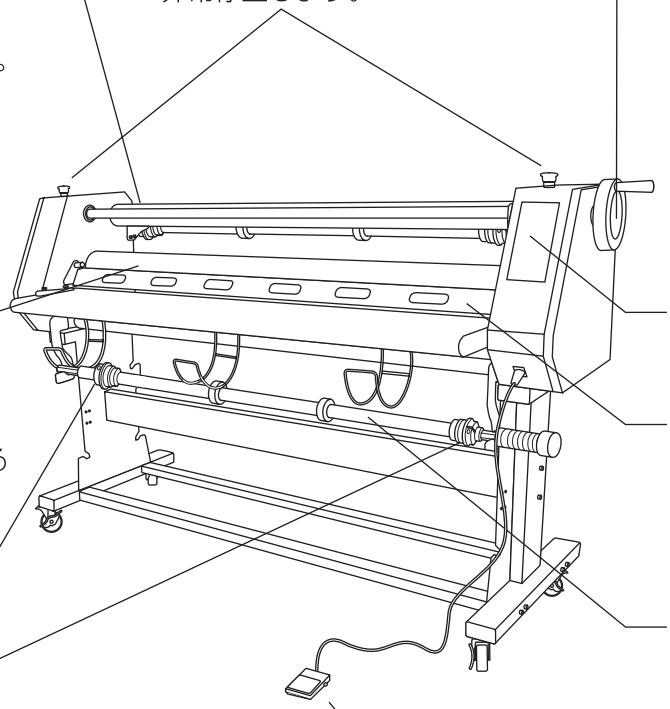
●ローラーに糊等の汚れが付着した場合、速やかに清掃してください。汚れたローラーは、密着不良の原因になります。

●ローラーの清掃は、無水エタノールと柔らかな布でローラーを傷つけないように行ってください。

●連続してラミネート作業を行わない時は、ラミネートフィルムを本体にセットした状態で放置しないでください。特にラミネートフィルムの糊が露出した部分についてはホコリやゴミの付着、フィルム糊の変質する恐れがあります。この部分の使用は避けてください。
（P.21参照）

# 各部の名称と働き

## ■本体部



**リケイ紙巻取り棒**
リケイ紙をこのローラーで巻取ります。
調整用キャップを回すと巻き上げ力を調整出来ます。

**非常停止ボタン**
緊急時にこのボタンを押すと非常停止します。

**コーティングローラー圧力調整ハンドル**
コーティングローラーの圧力を調整するためのハンドルです。
ハンドルを時計方向に回すとコーティングローラーが下に移動して圧力が増加します。
反時計方向に回すとコーティングローラーが上に移動して圧力が減少します。

**コントロールパネル**
（次頁参照）

**安全ガード**
手などを巻き込まないためのガードです。

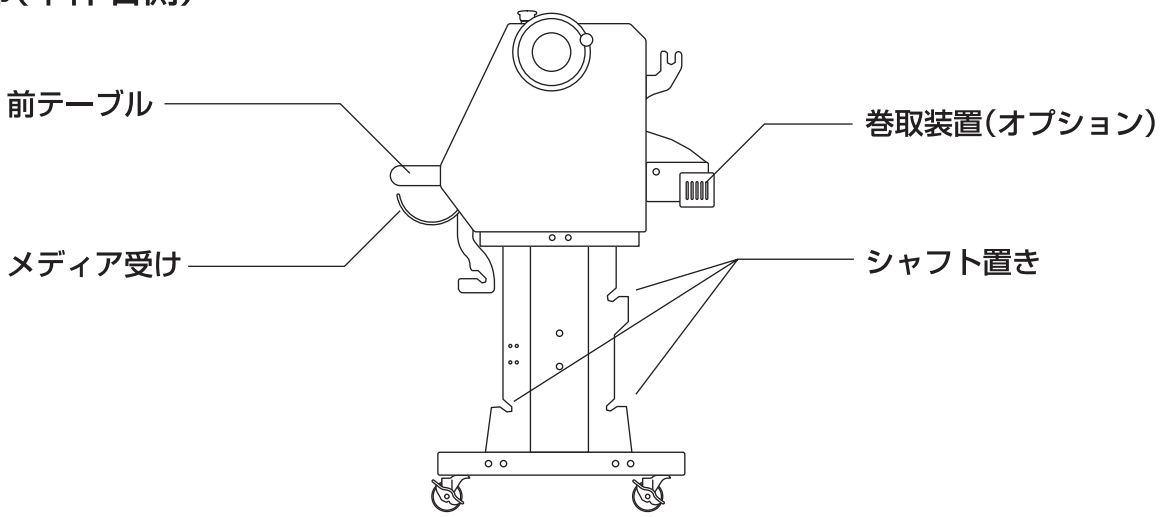
**コーティングローラー**
ラミネートフィルムを圧着するためのローラーです。

**フィルムシャフト**
アンダーフィルムを装着するためのシャフトです。

**フィルム止めキャップ**
アンダーフィルムを固定するためのキャップです。
また、本体後面のラミネートフィルム用シャフト両端にはラミネートフィルムを固定する為の同様のフィルム止めキャップがあります。

**フットスイッチ**
このスイッチを押すと、コーティングローラーが順方向に回転します。

## ■側面部（本体右側）



**前テーブル**

**巻取装置（オプション）**

**メディア受け**

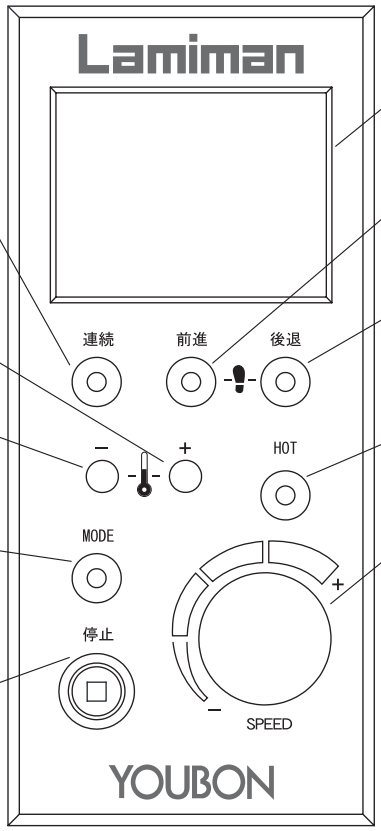
**シャフト置き**

※メディア受けに直接メディアを置いて使用すると、印刷面に擦過キズが入る可能性があります。

# 各部の名称と働き

## ■コントロールパネル部

**コーティングローラーの回転方向・速度・回転の開始・停止を操作出来ます。**




**連続スイッチ**
ローラーを連続して回転させたいときに使用します。

**温度調整(＋)スイッチ**
温度を上げるときに使用します。

**温度調整(－)スイッチ**
温度を下げるときに使用します。

**モードスイッチ**
モード調整時に使用します。

**停止スイッチ**
運転を停止するときに使用します。

**デジタル液晶画面**
作業画面が表示されます。

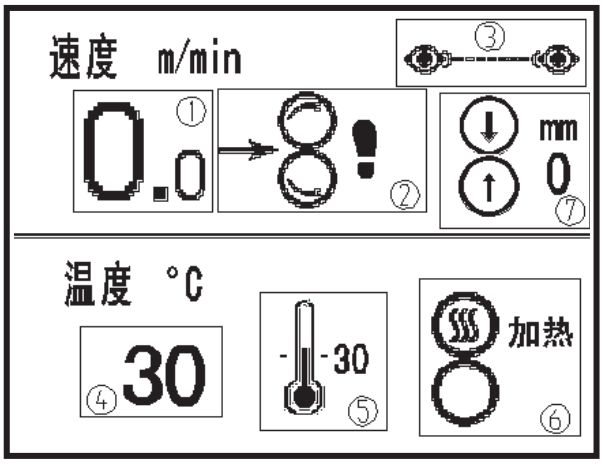
**前進スイッチ**
ローラーが順方向に回転します。

**後退スイッチ**
ローラーが逆方向に回転します。

**ホット(加熱)スイッチ**
ローラーを加熱するときに使用します。

**速度調整ボリューム**
ラミネート速度を調節できます。

※コーティングローラー後退スイッチはフットスイッチ操作時のみ有効です。




**①速度表示**
ローラーの回転速度を表示します。フィートとメートルの2種類から選択可能です。

**②回転方向表示**
ローラーの回転方向を表示します。矢印が表示している方向がローラーが回転している方向で、脚のマークはフットスイッチの使用を提示しています。

**③安全センサー表示**
安全センサーの稼動状況を表示します。
センサーが作動するとエラー音が鳴ります。

**④設定温度表示**
設定した温度を表示します。華氏温度と摂氏温度の2種類から選択可能です。

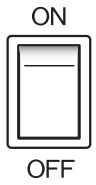
**⑤現温度表示**
現在のローラー温度を表示します。華氏温度と摂氏温度の2種類から選択可能です。

**⑥加熱表示**
ローラーが加熱中であるかどうかを表示します。どちらにも加熱の表示が出ていない場合はコールド状態を意味します。

**⑦ローラー間すきま量**
ローラー間の距離を表示します。

## ■コントロールパネル操作説明

### ●電源を入れる




主電源を入れるとディスプレイ部分が点灯してスタート画面が表示されます。スタート画面ではロゴが表示された後、作業画面に変わります。
電源オフ時はディスプレイは非表示となります。

### ●前進機能

本機が停止状態時（停止スイッチランプが赤）に前進スイッチを1回押すと、スイッチが青色に光り、ディスプレイに前進アイコンが出ます。

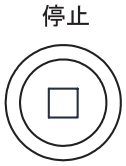
### ●フットスイッチ

本機が停止状態時にフットスイッチを1回押すと、スイッチが青色に光り、ディスプレイにフットアイコンが出ます。
このとき機械はフットスイッチでのみ操作でき、脚をフットスイッチから離すと運転が停止します。

### ●後退機能

本機が停止状態時に後退ボタンを1回押すと、スイッチが青色に光り、ディスプレイに後退アイコンが出ます。
このとき機械はフットスイッチでのみ操作でき、脚をフットスイッチから離すと運転が停止します。

### ●前進・後退の切替



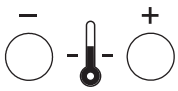

前進時から後退操作を行う場合、**必ず停止スイッチを押してから**後退状態に切り替えてください。

**ご注意!!** 前進・後退の切替はいかなる状況であっても直接切り替え作業を行わずに、必ず先に停止スイッチを押してから行ってください。後退またはジョグ状態では安全センサーは稼動せず、センサーの表示が暗くなり点滅します。

### ●ローラー加熱設定

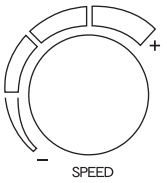
電源を入れた時はコールド状態となります。
（上下ローラーとも加熱していません）
ホットスイッチを一度押すと、スイッチが青色に光り、ティスプレイに加熱が表示され、ローラーが設定温度まで加熱されます。
もう一度押すと再びコールド状態に戻ります。

**●温度の上下調整**



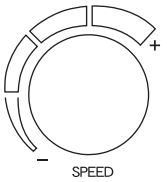

温度スイッチ（＋、－）を押すごとに1℃ずつ温度が変化します。2秒以上続けて押すと、5℃ずつ変化します。

**●速度調整機能**



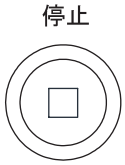

速度調整ボリュームを時計回りに動かすと0.1m/分の速度が増加します。反時計回りに動かすと0.1m/分の速度が減少します。

**●速度調整ボリュームでローラーを回転させる**



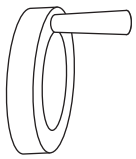

ディスプレイに連続前進が表示されている状態で、速度調整ボリュームを逆時計周りに、速度表示が"0.0"になるまで回すと機械は停止し、時計回りに回すと連続前進状態となります。

**●機械を停止する**




前進、後退、フットスイッチいずれの状態であっても、停止スイッチを押すと、各種運行スイッチランプは消え、停止スイッチランプが光り、停止します。

**●ローラー間すきま量表示機能**



ハンドルでローラーを上げたり下げたりすると、画面上にローラー間の距離が表示されます。最高30㎜まで上がり、最小値は0㎜となります。

**●エラー警告**

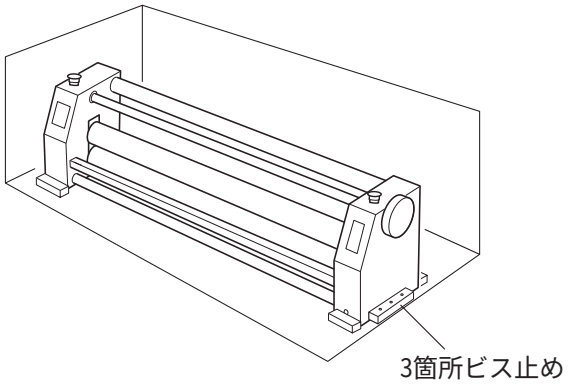
ラミネート中に安全センサーに物や手が触れ、センサーが反応すると、稼動状態から自動的に停止状態となり、画面上に安全センサーのエラーが表示されエラー音が鳴ります。
センサーから対象物を離し、停止スイッチを押すと、エラーが解除されます。

# 開梱、設置について

## ■本体およびフィルム用シャフトの取り出し

本体は木板にて固定されています。また、フィルム用シャフトは、2ヶ所のシャフト固定ブラケットで梱包箱に固定されています。
下記の方法で本体およびシャフトを梱包箱より取り外してください。なお、取り外した部品は必ず保管しておいてください。

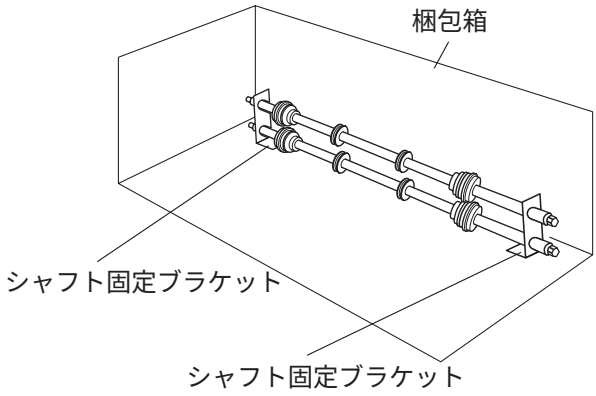
### *1* 本体の取り出し




**ご注意!!**

本体は非常に重いので、取り出すときは落下などに注意しながら行ってください。

### *2* ラミネートフィルム用シャフト、アンダーフィルム用シャフトの取り出し

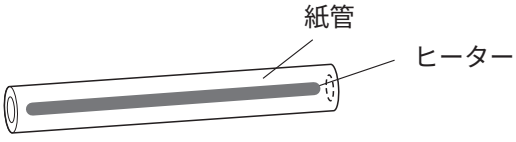



各シャフトは、シャフト固定ブラケットで梱包箱に固定されています。
シャフト固定ブラケットを梱包箱から外してシャフトを箱から取り出します。シャフトから固定ブランケットを外します。

**ご注意!!**

シャフトを抜き取るとき、シャフトをシャフト固定ブラケットに当てて傷をつけないように注意してください。

### *3* ヒーター管の取り出し

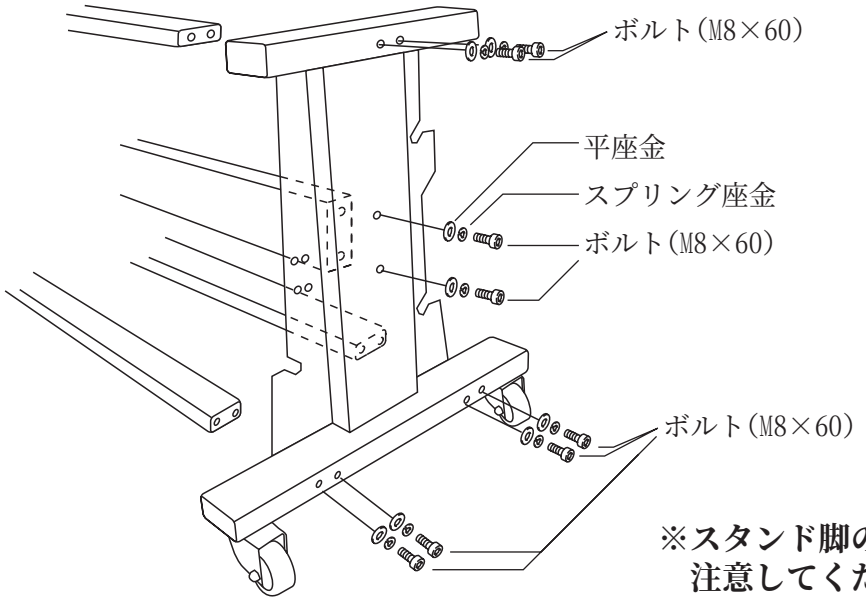



梱包されてるヒーター管を取り出します。
ヒーター管は衝撃に弱く、破損しやすいので取扱いには充分にご注意ください。

## ■設置のしかた

### ●専用スタンドの組み立て

下記の方法せスタンドを組み立てます。
付属のボルト、スプリング座金、平座金で上下3本の支柱を取り付けます。
下図では右部分の取り付け方法です。左側も右側と同じ方法で取り付けてください。

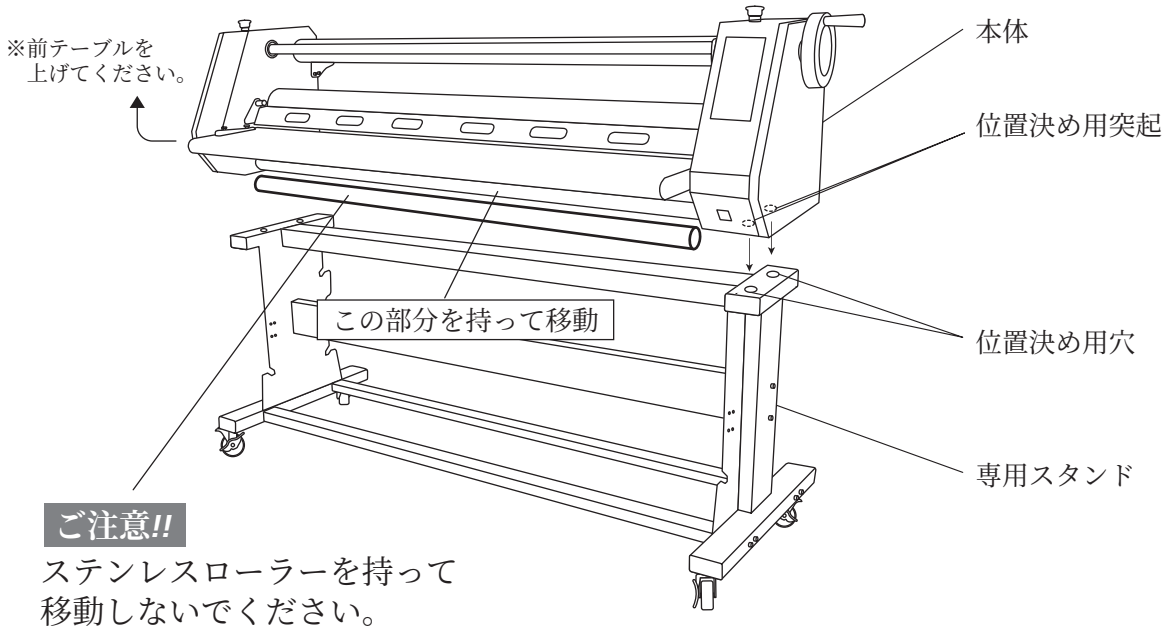



### ●専用スタンドへの設置

本体を組み立てた専用スタンドに設置します。本体底面の位置決め用突起を専用スタンド上部の位置決め用穴に合わせて設置します。

**ご注意!!**

本体を移動したり、設置する場合は、必ず本体の下図の部分を持って行ってください。
ローラー圧力調整用ハンドル、コーティングローラーや左右ケースを持って移動させることは絶対に行わないでください。本機の転倒、落下、故障の原因となります。



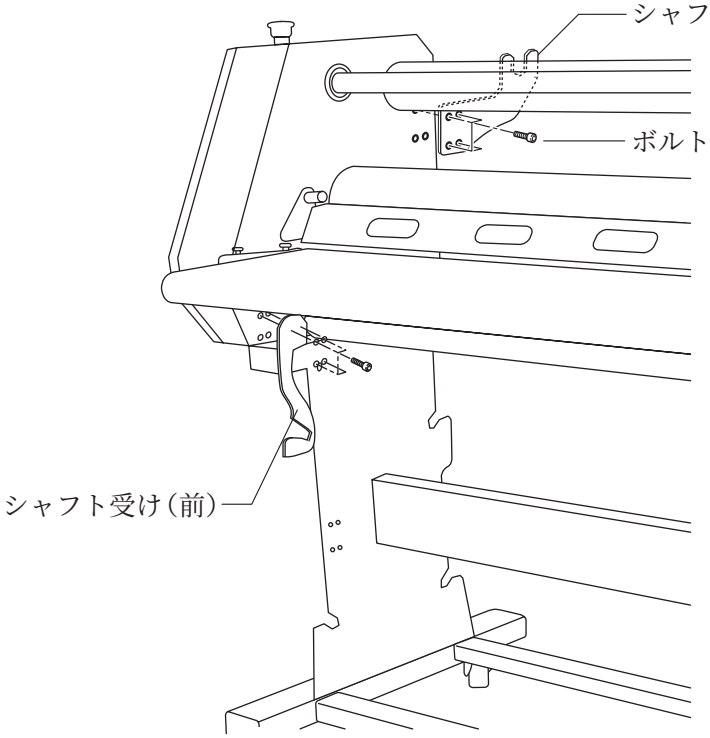

**ご注意!!**

ステンレスローラーを持って
移動しないでください。

# 付属品の取り付け

## ■シャフト受け（前・後）の取り付け

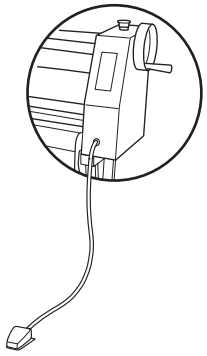
**シャフト受け（前・後）の付属のボルトで本体に取り付けます。**
**●下図は左側を示します。右側も同様に取り付けてください。**




ヒント

シャフト受けおよび本体には取り付け場所を示す記号が貼付けてありますので、同じ記号の場所に取り付けてください

## ■フットスイッチの取り付け

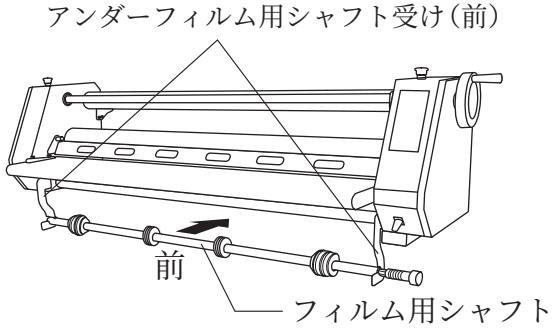


**●コントロールパネルの下にある差し込み口にフットスイッチのコネクタを差し込み、ネジを回して取付けます。ネジはしっかり締めてください。**

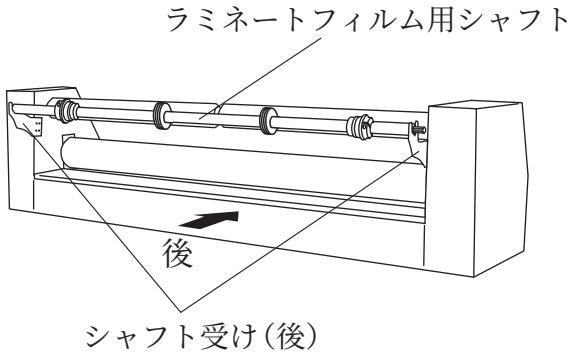
**●フットスイッチ使用時は、コントロールパネルの 連続/停止切換スイッチを "停止" にしてください。**

## ■フィルム用シャフトのセット

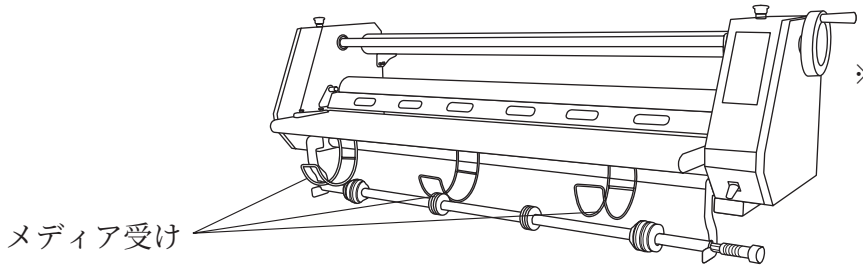
**●アンダーフィルム用シャフト受け(前)にフィルム用シャフトを乗せる。**




**●ラミネートフィルム用シャフト受け(後)にフィルム用シャフトを乗せる。**



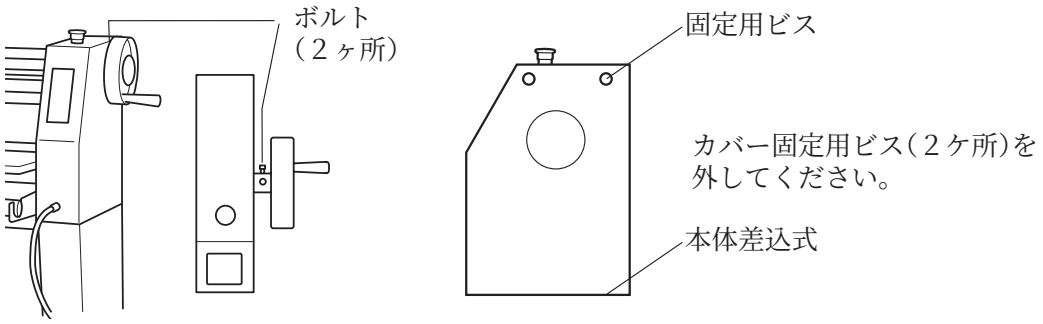

## ■メディア受けを取り付ける。




※メディア受けに直接メディアを置いて使用すると、印刷面に擦過キズが入る可能性があります。

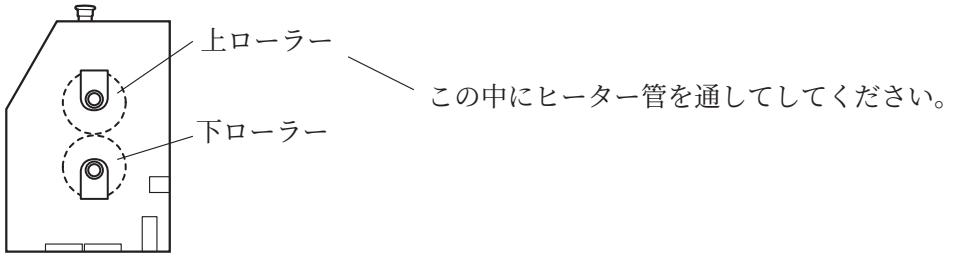
## ■ヒーター管の取り付け

**1** **本機、右カバーを外します。（コーティングローラー圧力調整ハンドルの裏側にあるボルトは付属の六レンチで外してください）**

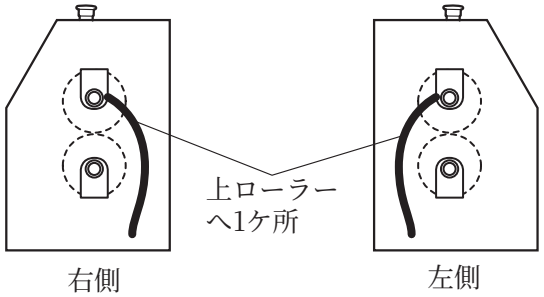



**2** **本機、左カバーを外します。（右カバー同様、カバー固定用ビスを外してください）**

**3** **ヒーター管を上コーティングローラーの中に通して両側に耐熱ブッシュを取り付けます。**

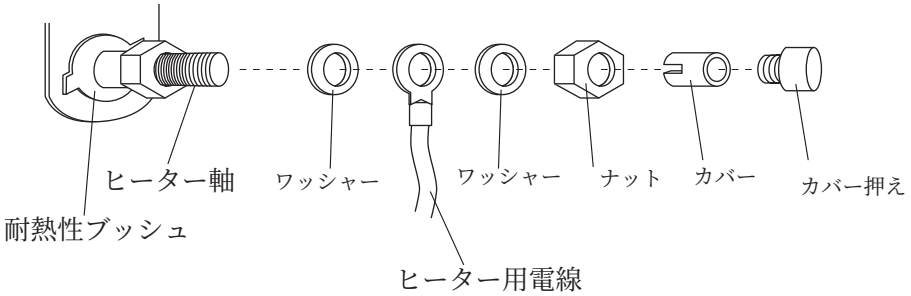



**4** **ヒーター用電線を接続します。**




**ご注意!!**

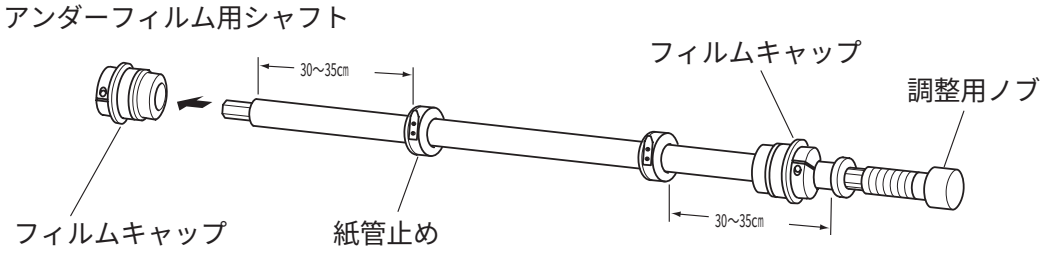
ヒーター管は破損しやすいので、軸を手で押えながら慎重にビス止めしてください。
ヒーター管と耐熱性ブッシュは向きを確認してから取り付けてください。



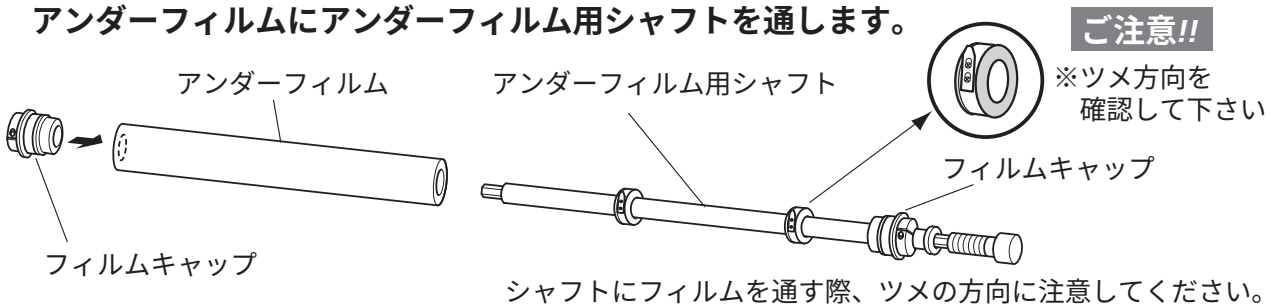
## ■アンダーフィルムおよびラミネートフィルムを各シャフトにセットするには

### ●アンダーフィルム

**1** **最初に調整ノブ側にフィルムキャップを取り付けます。次にアンダーフィルム用シャフトの紙管止めネジをゆるめ、左右のシャフト受け位置から30〜35㎝程の所で止めます。**




**2** **アンダーフィルムにアンダーフィルム用シャフトを通します。**

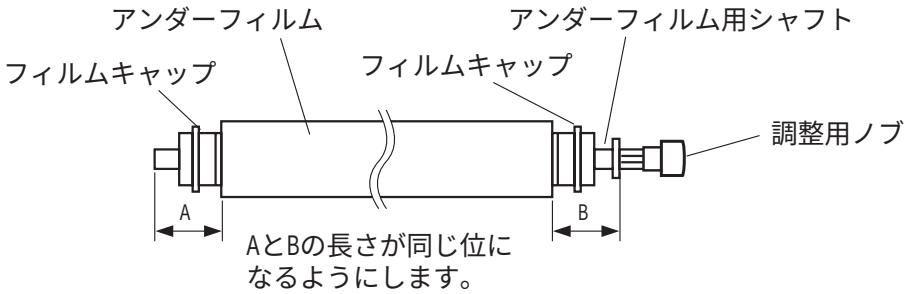



**ご注意!!**

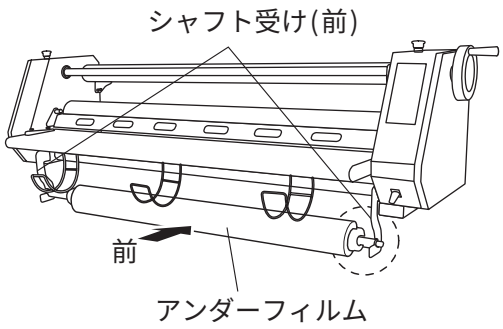
※ツメ方向を確認して下さい

シャフトにフィルムを通す際、ツメの方向に注意してください。

**3** **アンダーフィルムがアンダーフィルム用シャフトのほぼ中央にくるようにしてフィルムキャップを固定してください。**

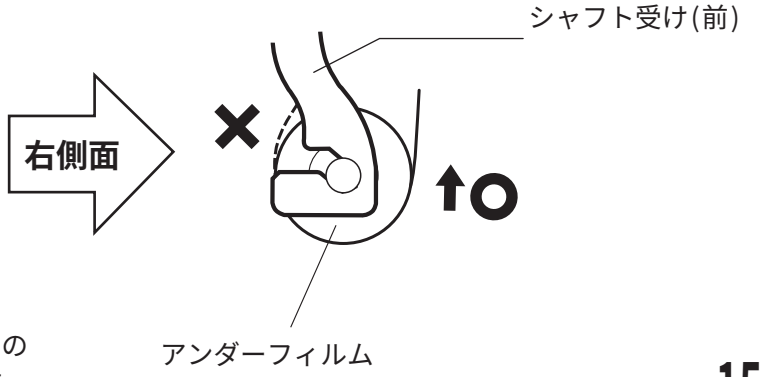



**4** **アンダーフィルムをセットしたシャフトをシャフト受け（前）に乗せます。**




**ご注意!!**

この時、アンダーフィルムは下図の方向（下側）よりフィルムが出るようにしてください。

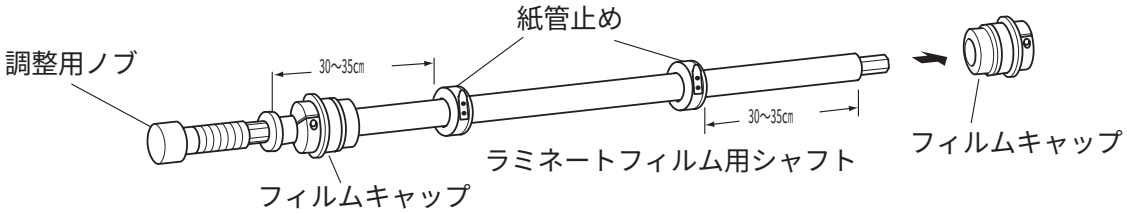



**アンダーフィルムを取り外す時**

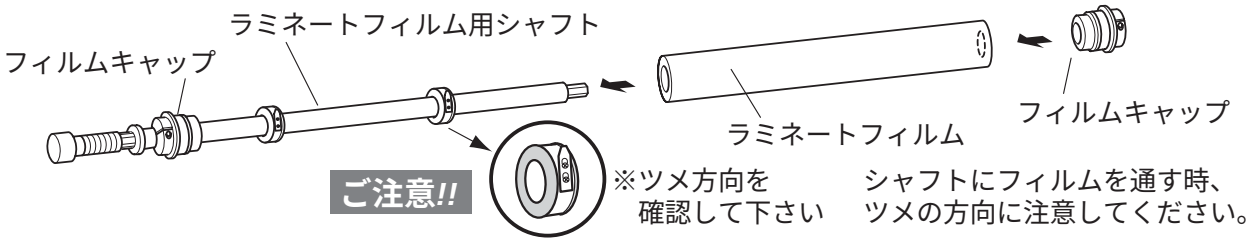
アンダーフィルムを少し持ち上げ、自身の方へ転がすようにすると外しやすくなります。

●ラミネートフィルム

**1** **最初に調整ノブ側にフィルムキャップを取り付けます。次にラミネートフィルム用シャフトの紙官止めネジをゆるめ、左右のシャフト受けから30〜35㎝程の所で止めます。**

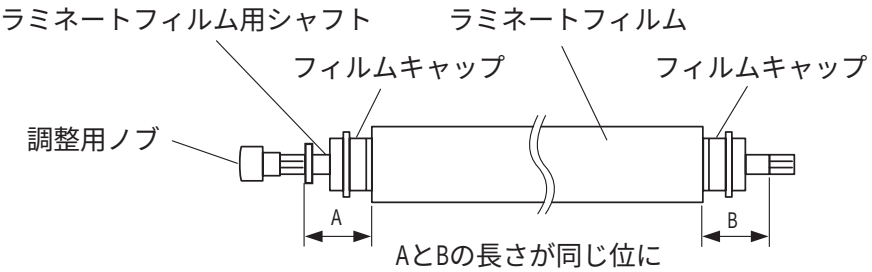



**2** **ラミネートフィルムにラミネートフィルム用シャフトを通します。**

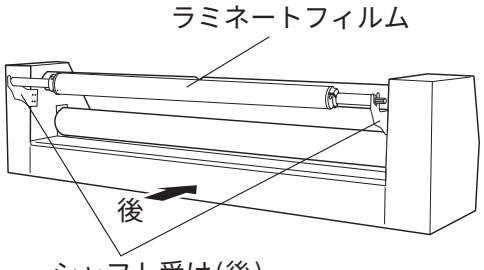


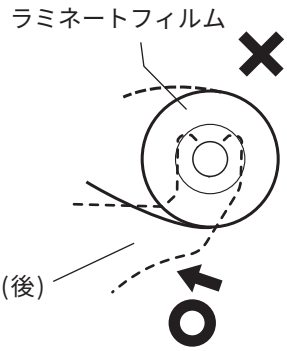

シャフトにフィルムを通す時、ツメの方向に注意してください。

**3** **ラミネートフィルムがラミネートフィルムシャフト用のほぼ中央にくるようにセットしてください。**




**4** **ラミネートフィルムをセットしたシャフトをシャフト受け（後）に乗せます。フィルムキャップを調整してフィルムの張りを調整してください。**



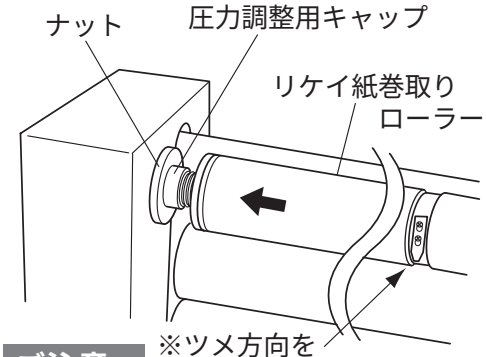

**ご注意!!**

この時、ラミネートフィルムは右図の方向（下側）よりフィルムが出るようにしてください。

## ■リケイ紙巻取りローラーについて

リケイ紙巻取りローラーに紙管を前もって取り付けてください。

リケイ紙巻取りローラーを取り外す時は、ローラーのナット部を右に回し、圧力調整用キャップをゆるめ、ローラーを矢印の方向に押しながら反対側より取り外します。取り付ける場合は逆の手順で行います。また、リケイ紙巻取りローラーに圧力を加える場合はローラーのナット部を左に回します。



# オプション巻取装置

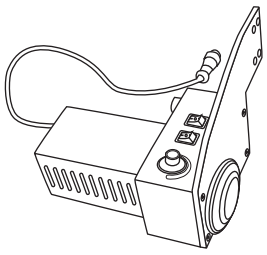
## ■巻取装置について

●本機には巻取装置が1セット付属しています。
●取り付ける箇所によって使用用途をかえることができます。

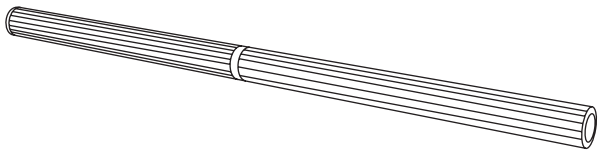
| |
|---|
| **本機背面に取付け**・・・ラミネート後のメディア巻取装置として使用します。<br><br>**本機前面に取付け**・・・両面ラミネート時の下側ラミネートフィルムの<br>**（下方）**　　離ケイ紙巻取装置として使用します。 |

## ■部品の確認

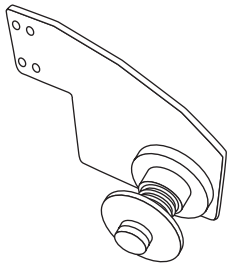
●オプション巻取装置には以下の部品が入っています。お確かめください。



巻取モーター



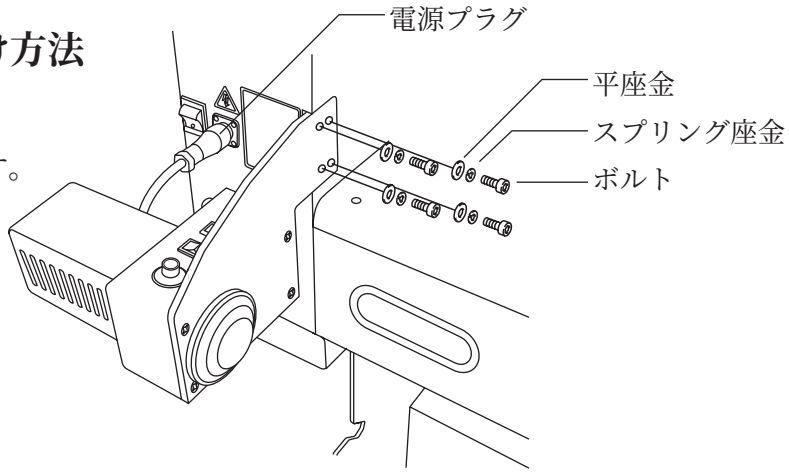
巻取棒(紙管を取り付けてください。)
※ツメの向きに注意！！



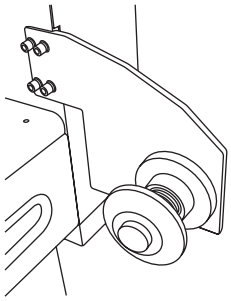
巻取棒固定用ステー

## ■メディア巻取装置の取り付け方法（本体背面）

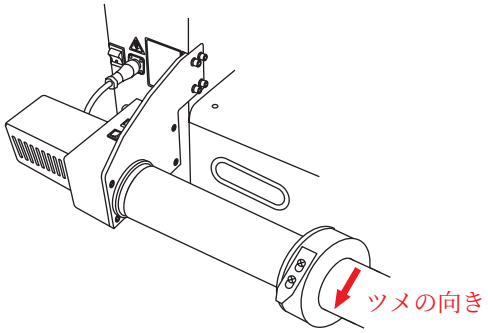
○はじめに巻取モーターを取り付けます。
※ボルトは本体に付いています。
○次に電源プラグを差込みます。



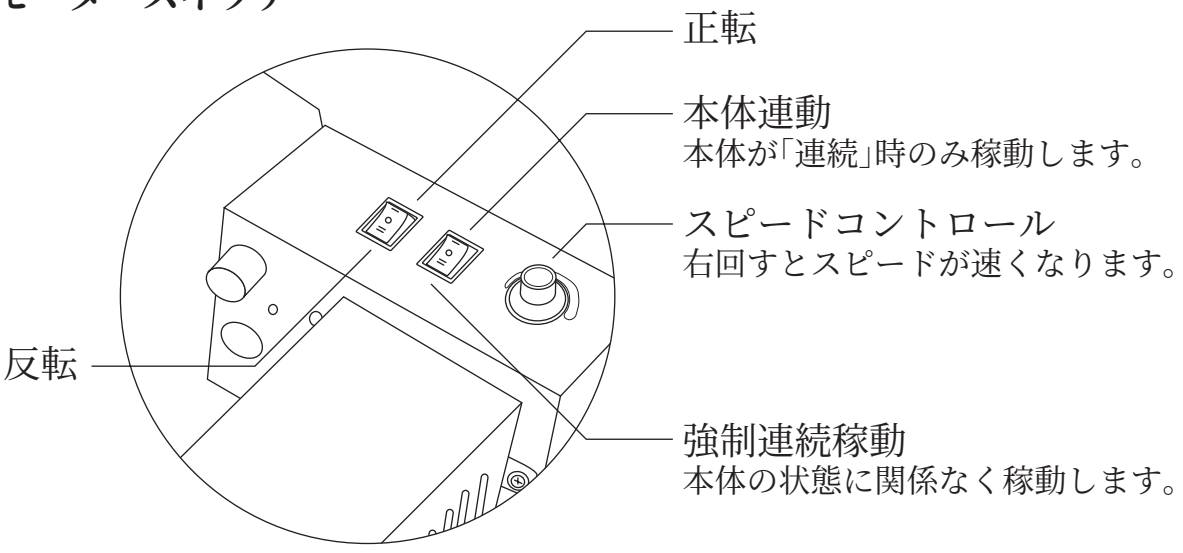

○反対側に巻取棒固定用ステーを
巻取モーター同様に取り付けます。



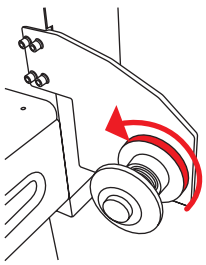
○最後に巻取棒に紙管を取り付け、
ツメの向きに注意して取り付けます。
※この時、巻取棒を巻取棒固定用ステー
に押し付けながら取り付けます。




## ■巻取モータースイッチ



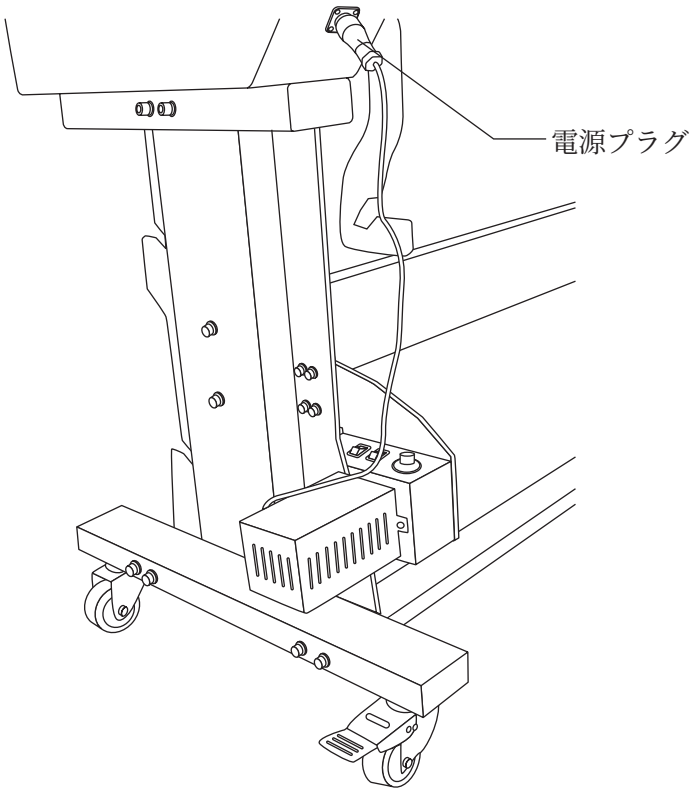

## ■巻取調整



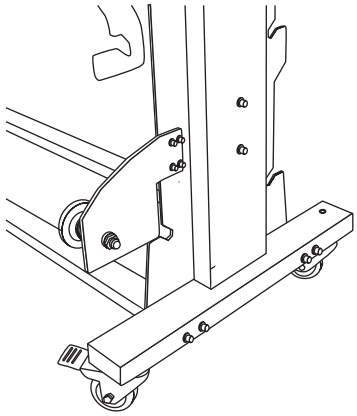
○巻取棒固定用ステーを矢印の方向に回すと、台座が中央に移動して固定幅がきつくなるため、巻取り力が強くなります。
○巻取棒を外す際は元の位置に戻してください。
○巻き取りの長さは15M程度で取り外してください。
（故障の原因となります。）

## ■両面貼り用離ケイ紙巻取装置の取り付け方法（本体前面）

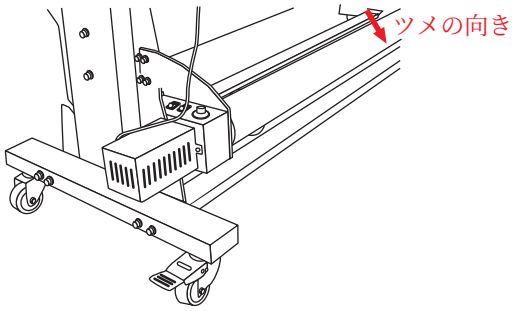
○はじめに下図のように巻取モーターを取り付けます。
※ボルトは本体に付いています。
○次に電源プラグを差込みます。



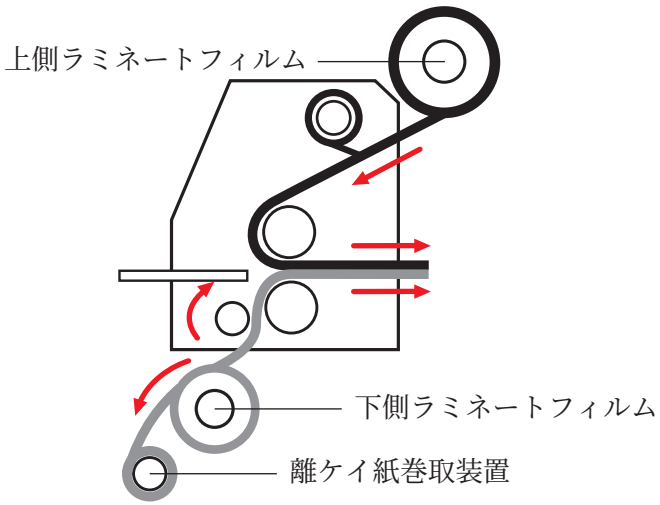

○反対側に巻取棒固定用ステーを巻取モーター同様に取り付けます。



○最後に巻取棒に紙管を取り付け、ツメの向きに注意して取り付けます。
※この時、巻取棒を巻取棒固定用ステーに押し付けながら取り付けます。




## ■フィルムの通し方




**※巻取モータースイッチと巻取調整はP16を参照してください。**

# フィルムをセットする

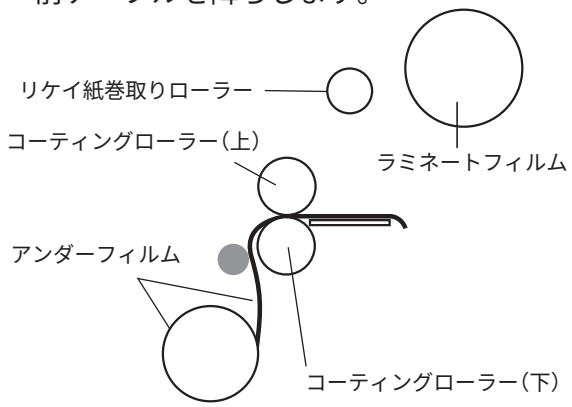
## ■ラミネートフィルムおよびアンダーフィルムをセットする

**ラミネート加工を始める前にアンダーフィルムおよびラミネートフィルムを下記の手順で本機の各ローラーに通しラミネート加工の準備をします。**

●下図はそれぞれのフィルムのセット方法をわかりやすくするため、イラストを簡略化してあります。
●フィルムのセット方法は、本体左側のイラストシールも確認してください。

### 1 アンダーフィルムをセットする。※前テーブルを上げてローラーが見えるようにしてください。

コーティングローラー（上）を下げ、コーティングローラー圧力調整ハンドルをDOWN方向へハンドルが軽くなる範囲まで回してコーティングローラー（上）を下げます。
前テーブルを降ろします。

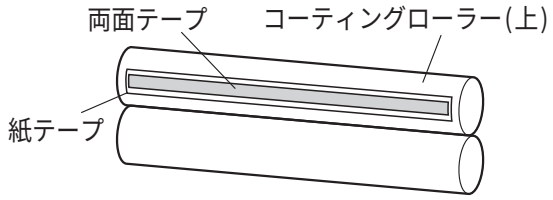



図のようにアンダーフィルムをコーティングローラー（上）とコーティングローラー（下）の間に通しておきます。

**ご注意!!**

●アンダーフィルムに、シワ・よれが出ないようにセットしてください。
●アンダーフィルムを引き出す際はセンター部を持ち引き出してください。

### 2 コーティングローラー（上）に紙テープと両面テープを貼り付ける

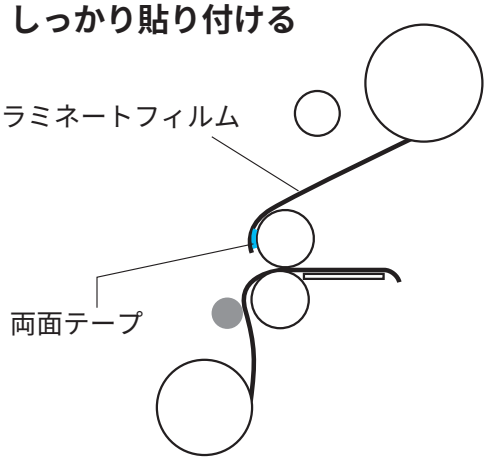



コーティングローラー（上）に1〜2㎝幅の紙テープを図のように貼り付け、その上に紙テープより少し幅の狭い両面テープを貼り付けます。

**ヒント**

紙テープの粘着力が強いときは、一度服などにつけて粘着力を弱めてから貼り付けてください。

### 3 コーティングローラー（上）に貼った両面テープにラミネートフィルムをしっかり貼り付ける



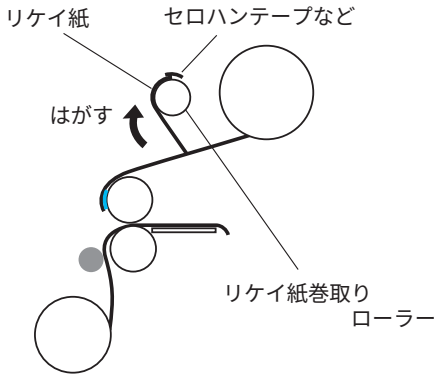

**ヒント**

ラミネートフィルムはコーティングローラーの中央部から左右に伸ばすように貼り付けると、うまく貼り付けられます。

**ご注意!!**

貼り付けたラミネートフィルムにしわがある場合は、もう一度貼り付け直してください。

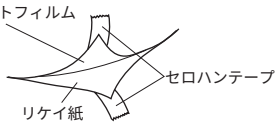
## 4 ラミネートフィルムのリケイ紙をはがし、リケイ紙をリケイ紙巻取りローラーの中央にセロハンテープ等で固定する




**ヒント**

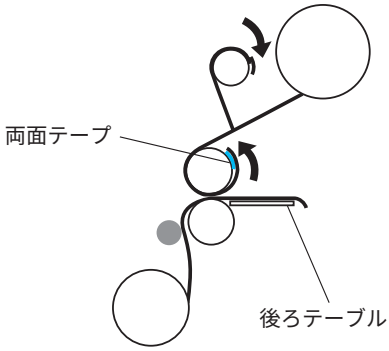
重要 ●リケイ紙巻取りローラーに予め紙管を取り付けてお使い頂くと巻取ったリケイ紙の処分がスムーズに出来ます。

●リケイ紙をはがすときはセロハンテープなどを使うと便利です。




●リケイ紙は左右均等にはがしてください。
リケイ紙はリケイ紙巻取りローラーの中央一ケ所をセロハンテープ等で止めると、巻取り始め　の左右のバランスが良くなります。

## 5 コーティングローラー(上)にラミネートフィルムを貼った両面テープが図の位置にくるまでパネルの前進スイッチを押し、ローラーを回転させる



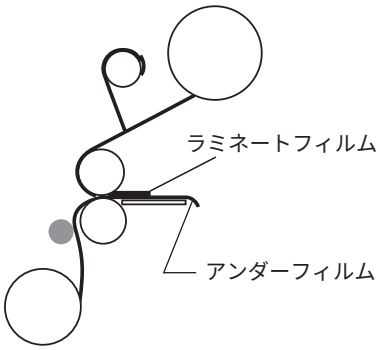

**ご注意!!**

●ローラーにアンダーフィルムが付いて回ってきますので回しすぎに注意してください。
●安全のためできるだけローラーの回転は低速で行ってください。
●後退"は絶対にしないでください。
"後退" すると、シワ・たるみの原因になります。

重要 **ヒント**

作業者がフットペダルを持ち、本機の後方にまわり、目視で確認しながら作業をされることをおすすめします。

## 6 コーティングローラーに貼ったラミネートフィルム、両面テープ、紙テープを剥がす




コーティングローラーに紙テープや両面テープが付いているときは、この時に必ず取ってください。

**ご注意!!**

ラミネートフィルムおよびアンダーフィルムにしわがあるときは、手順1～6をくり返してセットし直してください。

## ■コーティングローラーの圧力を調整するには

本機はコーティングローラーの自重でラミネートを行います。コーティングローラー圧力調整ハンドルをDOWN方向へ回してコーティングローラー(上)が(下)に接するとハンドルの操作感が軽くなる遊びの範囲があります。コーティングローラー圧力調整ハンドルをこの範囲に収まるように調整してください。この状態が最もバランス良く加圧でき安定したラミネートができます。ラミネートをする材質に合わせ、圧力を調整してください。

**重 要** **メディアが入った状態でもハンドルに遊びがあり軽い状態であることを確認してください。**

**ご注意!!**

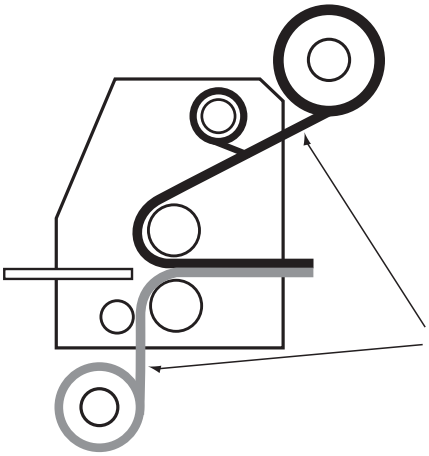
コーティングローラー圧力調整ハンドルの調整が遊びの範囲で無く、ハンドルが固い状態（ローラーを上げた状態や下げ過ぎた状態）でラミネートを行うと、メディアやラミネートフィルムにかかわる圧力バランスがくずれて、ラミネートにシワが入ったりセットしたフィルムが蛇行します。

**ヒント**

- ●コーティングローラーが下がりきった時にハンドルは止まりますが、止まる寸前にハンドルが軽くなる範囲が有ります。（その範囲が最適な圧力となります）
- ●圧力調整ハンドルを時計方向または反時計方向に1回転回すと、コーティングローラーの高さが約1.5㎜それぞれの方向（上または下）に移動します。ラミネートする材質の厚さに合わせる目安としてください。

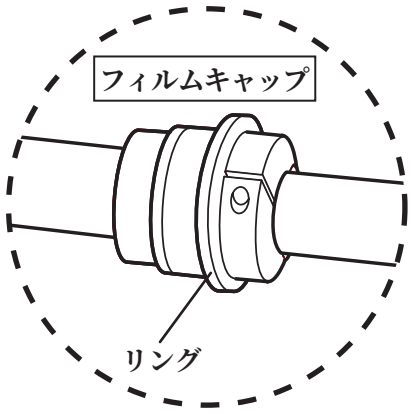
## ■ラミネートフィルム、アンダーフィルムの張り調整

ラミネートフィルムローラー、アンダーフィルムローラーをセットした後、手でラミネートフィルムおよびアンダーフィルムを引っ張ってみます。手で引っ張った時、それぞれのフィルムに適当な張力がかかっていることが必要です。張力がかかっていない場合は、フィルムキャップのリングを回して張力を調整してください。



この部分に適度な張力がかかるよう調整してください。

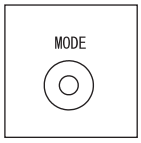
ラミネート中にラミネートフィルム、アンダーフィルムのそれぞれに適当な張力がかかっている必要があります。
フィルムにたるみやシワが入る時はフィルムキャップのリングを回して張力を調整してください。



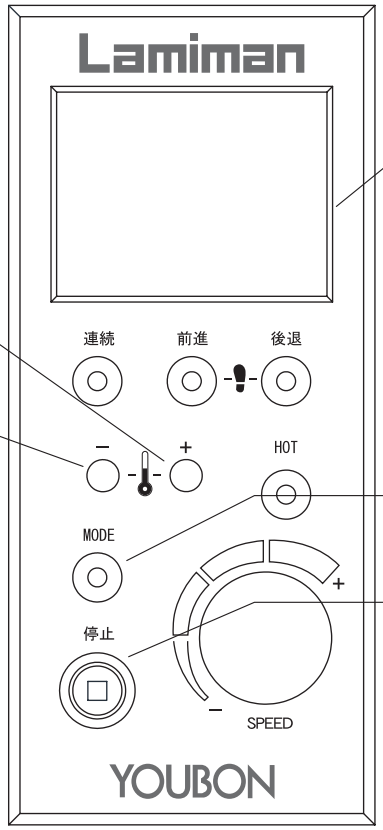
# モード設定

## ■モード設定のやり方

**機械停止状態でMODEスイッチを押すとモード設定画面が開きます。**
**（再度モードキーを押せば作業画面に戻ります）**




### ●モード設定時のスイッチの説明




**デジタル液晶画面**
モード設定画面が表示されます。

**温度調整(＋)スイッチ**
項目を変更するときに使用します。

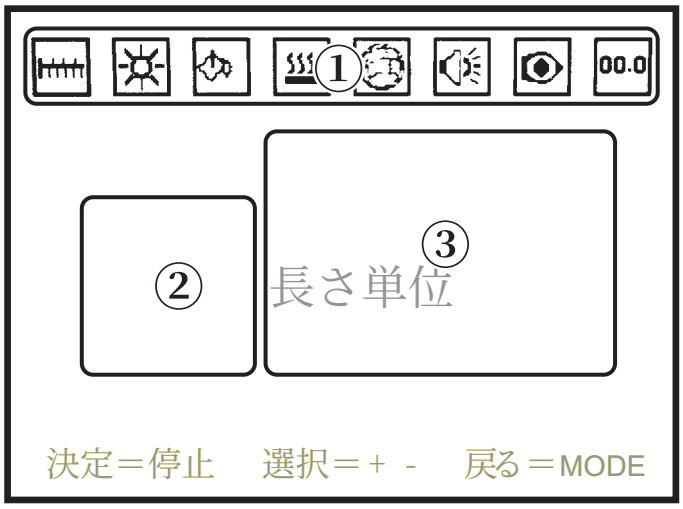
**温度調整(－)スイッチ**
項目を変更するときに使用します。

**モードスイッチ**
前画面に戻るときに使用します。

**停止スイッチ**
項目を決定するときに使用します。

### ●モード設定画面の説明

モード画面トップ



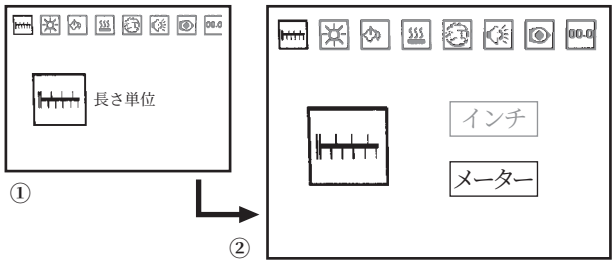

**①項目選択エリア**
8つの設定項目がアイコンで表示されます。
**②変更項目エリア**
選択された項目のアイコンが表示されます。
**③設定項目エリア**
設定する項目が表示されます。内容は項目によって変わります。

- **＋－スイッチで①の項目の中から変更したい項目のアイコンを選択します。**
- **②に変更したい項目が表示されたら停止ボタンで決定します。**
- **③に設定項目が表示されるので、＋－スイッチで設定の変更を行います。**
- **設定完了後、停止ボタンを押すと確定となり、モード設定画面に戻ります。**

※操作を間違えた場合はMODEスイッチを押せば前画面に戻ることができます。

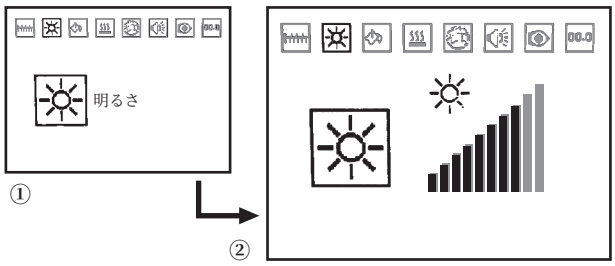
## ●各項目の説明

### 1 長さ単位



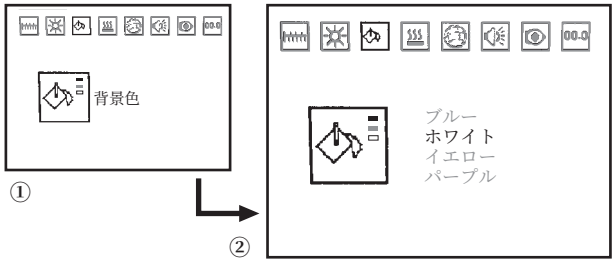

①項目を「長さ単位」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで「インチ」か「メーター」を選択します。
※標準設定「メーター」

### 2 明るさ



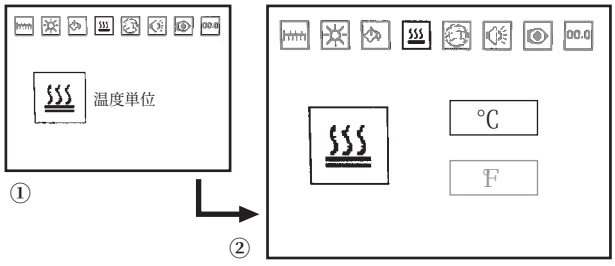

①項目を「明るさ」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで明るさを調整します。明るさは全部で10段階です。（最小2、最大10まで）
※標準設定「8」

### 3 背景色



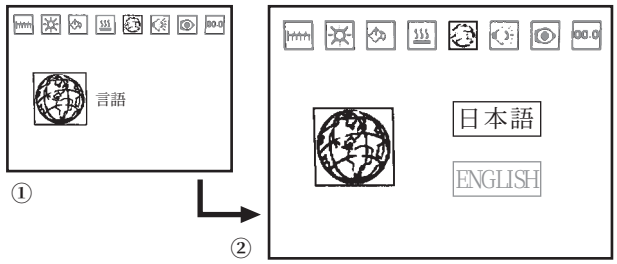

①項目を「背景色」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで色を選択します。
※標準設定「ホワイト」

### 4 温度単位



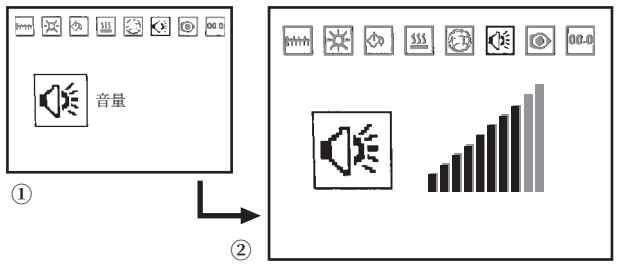

①項目を「温度単位」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで「℃」か「Ｆ」を選択します。
※標準設定「℃」

### 5 言語



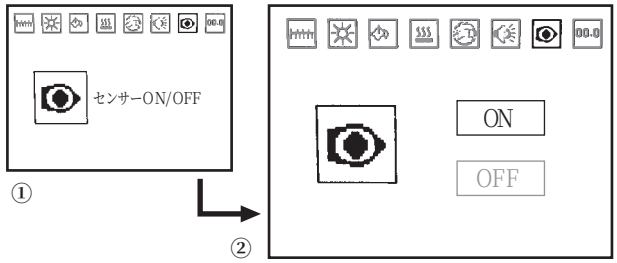

①項目を「言語」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで「日本語」か「ENGLISH」を選択します。
※標準設定「日本語」

### 6 音量



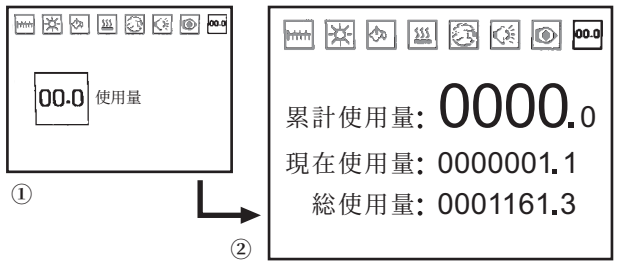

①項目を「音量」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで音量を調整します。音量は全部で10段階です。（最小2、最大10まで）
※標準設定「8」

### 7 センサーON/OFF




①項目を「センサーON/OFF」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋－スイッチで「ON」か「OFF」を選択します。
※標準設定「ＯＮ」

### 8 使用量




①項目を「使用量」に合わせ、停止スイッチを押します。
②＋スイッチで累計使用量が０設定になります。

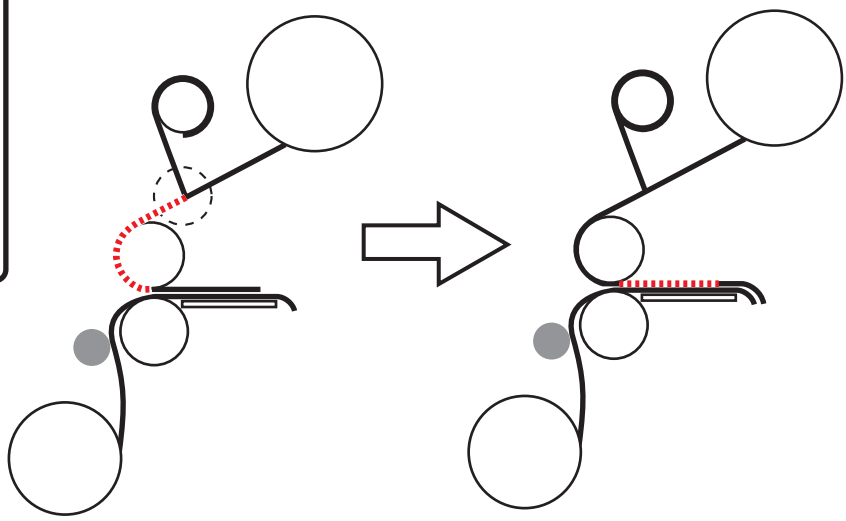
累計使用量……今使用したフィルムの使用量です。
現在使用量……当日電源を入れてから現在までの使用量です。
総使用量……工場出荷時から現在までの使用量です。

# ラミネートをはじめる前に

ラミネートをする際、破線部分は図のように後ろに送ってからラミネートをはじめてください。

※ラミネート中はローラーを止めないでください。作業中にローラーを止めるとラミネート面に白い線が出来てしまいます。

離ケイ紙の剥がししろが白い線でフィルムに出ますので破線部分を避けてラミネートしてください。

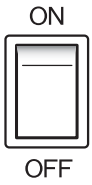


●連続してラミネート作業を行わない時は、ラミネートフィルムを本体にセットした状態で放置しないでください。特にラミネートフィルムの糊が露出した部分についてはホコリやゴミの付着、フィルム糊の変質する恐れがあります。この部分の使用は避けてください。

# ラミネートを始める

ラミネートを始める前に、ラミネートする材質と同じものをメディアとしてラミネート加工し、ラミネートの状態を確かめることをおすすめします。

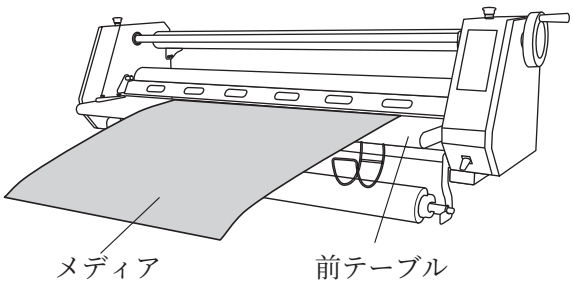
## 1 電源を入れる




電源スイッチを押して電源を入れます。

●電源スイッチが赤色に点灯します。

## 2 前テーブル上にメディアを用意する



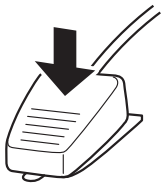

**ご注意!!**

メディアを用意する際は下記の点に注意してください。

- メディアにほこりが付かないようにする。
- メディアにしわが出ないようにする。
- メディアがコーティングローラーに真っすぐに、入れられるようにする。

## 3 フットスイッチまたはコントロールパネル部を使用して、メディアをコーティングローラーに送り込む

●コントロールパネル ⟶ 連続スイッチを押す
●フットスイッチ ⟶ 停止状態を確認して、フットスイッチを使用

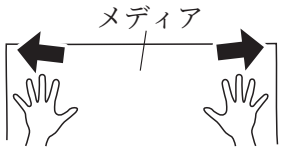


または

●この時、コントローラーパネル部のコーティングローラー前進/後退切換えスイッチを "前進" に、また、速度調整ボリュームでラミネート速度を調整しておきます。

**ご注意!!** 低速から開始してください。

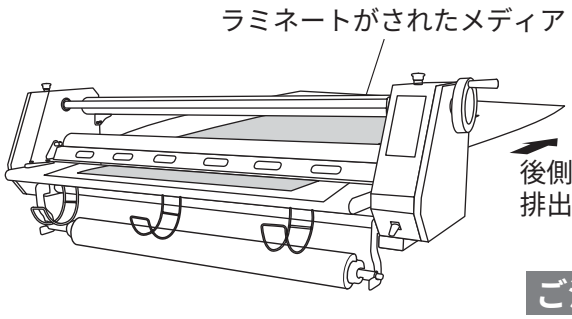
- 両手でメディアを持ち、外側に引っ張りながらコーティングローラーに真すぐ送り込んでください。




**ヒント**

定規などを使用してメディアを押さえると、メディア全体を均一に押さえることができるのでシワが入りにくく、安定してラミネートできます。

## 4 ラミネートされたメディアが本体の後側より排出されますので、ラミネートが終った所でカッターなどでラミネートフィルムをカットする。

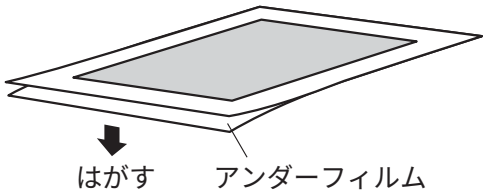



ラミネートされたメディアにしわがないかなど確認し、ラミネート状態がうまく行われるようであれば再度、正式のラミネートする材質を同様の方法でラミネート加工します。

**ご注意!!**

ラミネートされたメディアにしわ、空気などが入っているようであれば、ラミネートフィルムの張り具合、コーティングローラーの圧力等を再度確認してください。

## 5 余分なラミネート部分があればカッターなどで切りおとし、アンダーフィルムをはがす。



# 故障かな？と考える前に

本機が正常に動作しないときは、下表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないときは、「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名」「故障状況」をできるだけ詳しくサービス担当者までご連絡ください。

| 現　象 | 原　因 | 解決方法 |
|---|---|---|
| **電源が入らない。** | ●電源プラグがコンセントに接続されていない。<br>●ヒューズが切れた。<br>●緊急停止ボタンが押されている。 | ●電源プラグをコンセントに接続する。<br>●本体背面のヒューズボックスのヒューズを交換する。<br>●ボタンを右に回して復帰してください。 |
| **コーティングローラーが回転しない。** | ●電源が入っていない。<br>●コーティングローラーの圧力が大きすぎる。<br>●コーティングローラーの間に異物がはさまった。<br>●セットしたフィルムの回転が重すぎる。 | ●電源スイッチを押して、電源を入れる。（22ページ参照）<br>●コーティングローラーを上げて、圧力を減少させる。（20ページ参照）<br>●コーティングローラーを上げて、異物を取り除く。（20ページ参照）<br>●フィルム用シャフトの調整用キャップを操作して、フィルムの回転を軽くする。（20ページ参照） |
| **ラミネート中にラミネートフィルムが著しく片方にゆがんだ。** | ●ラミネートフィルムをセットした際のフィルム両側の引っ張りが同じでない。 | ●改めてラミネートフィルムを、正しくセットする。（18、19、20ページ参照） |
| **リケイ紙を巻き取らない。** | ●リケイ紙巻取りローラーの巻上力が小さい。 | ●リケイ紙巻き取りローラーの調整用キャップを回して、巻き上げ力を増加する。（14ページ参照） |
| | ● 電源が入っていない<br>● ヒューズが切れた<br>● 温度調節ツマミが適切な位置になっていない<br>● ヒーターが破壊している | ● 電源スイッチを入れ、電源を入れる。（17ページ参照）<br>● 本体背面のヒューズボックスのヒューズを交換する。<br>● 温度調節ツマミを適切な位置に調整する。<br>● 弊社に直ちに連絡する。 |

# 主な仕様

| | 1400EMNSⅡ | 1600EMNSⅡ |
|---|---|---|
| 最大ラミネート幅 | 1380 mm | 1580 mm |
| 最大ラミネート厚 | 25 mm | |
| ラミネート速度 | 0～6m／min | |
| ラミネート温度 | 室温 | |
| 定格電源 | AC100V　50／60Hz | |
| 定格入力電力 | 140 W | 140 W |
| 外形寸法<br>（W×D×H）スタンド含む | 1900×696×1225(mm) | 2100×696×1225(mm) |
| 本体質量<br>（重量）スタンド含む | 195 kg | 229 kg |

| | 1400EMTNⅡ | 1600EMTNⅡ |
|---|---|---|
| 最大ラミネート幅 | 1380 mm | 1580 mm |
| 最大ラミネート厚 | 25 mm | |
| ラミネート速度 | 0～6m／min | |
| ラミネート温度 | 室温～60℃<br>（上ローラーのみ） | |
| 定格電源 | AC100V　50／60Hz | |
| 定格入力電力 | 1000 W | 1400 W |
| 外形寸法<br>（W×D×H）スタンド含む | 1900×696×1225(mm) | 2100×696×1225(mm) |
| 本体質量<br>（重量）スタンド含む | 197 kg | 231 kg |

**ご注意!!**

本機の定格電圧以外の電圧は絶対に使用しないようにしてください。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

# MEMO

仕 事 の 道 具 を 考 え る

YOUBON

株式会社ユーボン　〒441-8086 愛知県豊橋市問屋町9-2
tel.0532-34-5700 fax.0532-34-5705
FAXフリーダイヤル 0120-771020
E-mail youbon@youbon.co.jp URL http://www.youbon.co.jp

販売店